

D. 国際奉仕委員会

◎遠藤、○外山、小村

地区大会委員案が来て居ります。関係分のみ掲載致します。

委員会	委員長	委員 (北クラブだけを掲載)
総務	能登幸恵	新善次、角谷隆一、横山敬治、船矢健喜智
登録	勝木鉄雄	成田勇司、杉本隆治、戸栗力
会場	葛西知二	(副)関本宏、神原金一、森正、山内一雄
食事	野口幸治	青柳喜一、酒井正勝
交通	釣谷尚(東)	岩塚陽一、小村修平
接待	棟方忠	(副)下郡山信一、外山定男、深瀬鴻一郎、野村宣一、布目賢治、飯田真一
記録	遠藤尚義(北)	市川芳夫、柴田量司、吉井政嗣、森秀樹
広報	脇一敏	山内文雄
余興	新井茂	川筋乙五郎、小笠原孝
観光	五十嵐長寿	大井康磨、藤林五郎
ゴルフ	庄子正治	佐々木椎名、広瀬芳男、岩塚陽一、駒井幸一、成沢善次郎
婦人	井ヶ田重造	(副)高杉重雄
救護	清水清武	宮崎英一、本間隆

★利益Profit

自己の企業発展のための活動、自己クラブの活動、同業者団体内の活動、公共的又は慈善的活動の結果、人はどのような利益を期待しうるか。その者が得る利益とは、商品生産原価と販売価格との差額から生ずるところの近視眼的かつ些末なことではない。

利益とはすべてのロータリアンが、もっと立派な人物そしてもっと規模の大きな人物になり、そして自己に対し、同僚たるロータリアンに対し、また社会一般に対して、もっと優れた奉仕をすることに関して、与えられた機会のことを言うのである。奉仕だ、私利、私慾ではない。奉仕に徹する者に最大の利益あり。

(田無R.C.小堀憲助氏訳ロータリー通解) ガバナー月信第11信より

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 4. 21	45名	39名	6名		
46. 4. 17	45名	33名	12名	11名	97.78%
在函クラブ	(4/8) 函館R.C. 92.50%	(4/13) 函館東R.C. 97.65%	(4/9) 函館五R.C. 100.00%		

次回例会日 5月12日

プログラム「未定」

5月5日は祝日休会

The Weekly Report

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル8階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 5. 12

1970~1971 第44号

第348回例会



ハワイ世界大会

深瀬鴻一郎会員

BRIDGE THE GAPS 隔りを取り除こう (ウォークR.I.会長指針)

本日のプログラム

「映画 マップの翼」

第347回例会記録

- ◎司会 船矢健喜智副会長
- ◎斉唱 それでこそロータリー
- ◎ゲスト 四倉太郎氏 (函館R.C.)
- ◎ピジター 門司R.C. 山下政道君 (セメント製造業)
- 函館R.C. 大坂谷道三君 他4名
- 函館東R.C. 外山正君 他5名
- 函館五R.C. 小川享君 他4名

◎会長報告

本日のこの会場を、第2、第4、第5水曜日例会に使用するようになりましたのでお含み下さい。

ごらんのように大変ひろびろしておりますので、今迄のようなご迷惑も無くなると思います。(従来例会物、右手奥になります。)

◎幹事報告

1. ローターリー財団委員会、の委員長に俣野会員に決定致しました。
2. 第347回例会(第43号)181ページ
委員会構成の、A、クラブ奉仕委員会 5.の会員推薦委員会を「会員増強委員会」と名称変更により訂正致します。

◎ニコニコボックス

1. 藤林会員 入会満半年を記念して
2. 山内(文)会員 何んとなく

◎卓話 「教育雑感」

函館昭和女子学園高校長 四倉太郎氏

昔の諺に「出る杭は打たれる」とあります。頭を出している杭は邪魔だから、人が躓いて転んだりするから、打たれるわけですけれども……作家の「菊地寛」の色紙を持っている方が、函館にもおりますがその色紙を見てみると「出ぬ杭は踏れる」と書いてあります。と言いますことは、私達が生きて行くのに非常に難しいと言っている、意味していると思うのです。

このような、きびしい現実の社会のなかにあつて、私共の住む函館は非常に景色に恵まれていて、大変いい環境の中で、私共も教育の一貫を担っているわけですが、私のところに二度程作家の「井上靖」先生がおみえになったことが、ありますが、私達が見ない函館の美しさを作家の目らしく捕えていますね。どんなところが美しいか、と言いますと、函館山、街、近く山々、等の距離が丁度いい、そしてその丁度いい間隔の青い空に綺麗な雲が流れていると……帰ってから、ある雑誌に日本で一番美しい街は函館であると書いておられましたが、そのほかにも多くの方々を案内する時でも、松風町や駅前と言った道路を走ると、あまり喜びませんね。

そう言ったところは東京の新宿や銀座もあれば池袋もありと言ふことで、むしろ東雲線を通りますと非常に喜んでもらえましたね、とりわけまだ舗装されていなかった、ガタガタ道路の時などは

(そのへんは住んでいる人と旅行者の感覚の相違と思うのですが)

まあ、どなたがおいでになつても、雲が非常に綺麗だとよく言うのです。

私も函館生まれの函館育ちでございますが、函館山からの景色、隣りの町々、山々のいただき空の青さ、雲の美しさ、そんなところまで気がつきませんでしたから、みなさ

人も、大変忙しいもんですから、下を見て、あんまり上を見て歩かないようですが、大変情緒の面では、もつたないなあーと思うことがありますけれども……

情緒もある、景色もいい街でありますけれども、やっぱり情報化社会でありまして、子供達の考え方も、大都会の子供達と、さして変りがありませんね……

ある大学の教授が言ってますが「こと人間に関しましては、絶対と言うものが、絶対にないと言うのが、私の絶対的信念である」とこれが社会科学を勉強なさる方の根本の心構でないかと思うのです、私がこれから申し上げます「教育」についても、ある面では、原則的な事であり、ある例については例外的なことである。と言ふことを御承知いただきたいと存じます。

子供達の考え方も非常に進んでおりまして、もう随分以前のことですが先生が何か尋ねます。そうすると解つても解らなくても、とにかく手を上げるんだそうです。「運悪く、あたると、「あゝ忘れまして」となかなか、がめつく成つて来ると言うことです。又先生が聞いたそうです。「お父さんもお母さんも大変成績がよかつたのに君はどうして……」生徒言うに、「それはやつぱり、オジイチャン、オーバーチャンの血が流れているんだなあ——」と試験の答案用紙に、白紙、でなく「ダルマ」を書いて出すのがあつたとか、これは多分に選挙の影響もあるんでしょうが、これは手も足も出ない、と言ふことでしょうか。

又こんな話もあります。最近男子高校生に「煙草」が非常に多いので、先生が生徒にやめるように注意すると、生徒の言うに「なんでも、禁止、禁止と言わんほうがいいんじゃないか」「火災予防上つつしみなさい」と言ってもらいたい。……もうこうなると法律を乗り越えた考え方ですけれども、これが通用すると申しますが、ひつかかつて来るわけでございます。

そのような状態ですから、もう昨日の知識は今日は通用しない、と言ふことが多くさん出て来ているわけです。従つて、もう学歴など言っている時代でなく、それだけで追いつかない時代になつて来たわけです。

“人間は一生勉強しなければだめだ”生涯教育、生涯教育、と言われるわけがそこにあるのですね。

私はいろんな所で講演をして歩くのですが、この生涯教育に関しては特に一番必要なのは都市に住むお父さん方だと思ふのです。農村漁村、とりわけ奥さん達が、モンペ姿作業着姿で講演を聞きに来てくれますが、何度となく継続して行つておりますので、都市より、むしろ、そういうところで講演すると言ふ時は多くの資料を準備して行かねばなりません。ですから函館のお母さん方に言うんですが、「私は高等女学校」を出ましたとか女子大を卒業したとか、おたかくとまって勉強しないでいると、農村や漁村の奥さん方と「話合」をしたら、負けてしまいますよ、と、そんな印象を受けることがしばしばあります。

一昨年でしたか、刑務所の中で「生活体験発表会」と言ふのをやりました。(私も採

点者として出席したんですが) 700名以上もいる中から13名の発表者がありました、発表者の内容は一人一人違ってはいますが共通していたところは「我々は何んの為に刑務所に入ったか/本当に我慢する力がたりなかつたからだ。」

学校の先生も教えてくれなかった。

親も教えてくれなかった。

世の中の大人も教えてくれなかった。だから/親が悪いく先生が、世の中の大人が悪いくんだ、と言うのではなく「我々は、この刑務所の中で我慢する力を養うんだ。どうするか/それは、規則を守るんだ/」と言うことです。非常に建設的と申しますか私自身点数どころか、非常に教えられるところが多くあったわけです。まあそう言った「持久力」と言うのはどうしても女性の方にあるのではないかなあと思うんです。

ですからおなじ話でも、じっと我慢して聞いている。

(ロータリークラブの会員の中には、まあ随分と我慢することに弱い人が多いのではないかなあと思うんです。忙しいので席を立たねばならない人もいるでしょう(私もそう言うことが時々あるからあんまり人のことは言えませんが)でも席を立たなくても本当はいいんだけど、じっと聞いているのは、たまらんと言うのでさっと立ってしまう……そんな意味では大いにこの我慢を養うようにしなければならぬと思うんです)

ところで、道南のある町で、お父さんのグループとお母さんのグループで「話合」をした時があります。お母さん方暇だから勉強していると言うわけでもないんですが、はじめ、じっくりと我慢して聞いておりましたが、(先程言ったように持久力がありますから)勝負は圧倒的にお父さんグループがやつつけられまして、お父さんグループは頭に来たわけですから、「なんだ/お前ダジ、俺ダジに喰わせて、もらつてくせに現届ばかりユツテ」と最後にこうなったわけです。

これはもう男の最後の切札です/ところがお母さん達もひつこりではおりません「何んです。喰わせてもらつてくせに言うことは」自分達の生活の時間表を作ってありまして「私達だつて漁業も手伝つて畑もやつて、家の事もやつてくせにこれを労働力に計算すれば、これこれ何万円位にはなるんですよ」これでもうお父さん達はグツと来たと言います。(こんな時調子のいゝ方はサーと切り上げ、おもしろくない方はあとにのこるもんですね。

お父さん方、役場の社会教育の係の人に「おめえだじ、あんまり母さんだじに勉強させんな/」とそんなわけですから私達は常に勉強しなければならぬわけですね。

長生の秘訣と言うことだそうですが

吉田元総理大臣にあなた80才もすぎてどうしてそんなに元気なんですか?何を喰べてんですか?て聞いたら「俺か、俺人喰つてくせに」言ったそうなんですがね。長生もしたい勉強もしなければならぬとのことで大変でございます。「母の日」も近いので母の日の感想文を読んでもみると、最近の子供さん達は、父、母、と書くのがだんだんと減って来て

るんですね、母と父となって来て地位が逆転して来てます。随分古い本ですが、「うろたえるなパパ」というのもありましたね、親父はよっぽどしつかりしなければいかなあと思いますけれども、父親なんてのは損だなあーという気がします。

だいたい生命保険を掛けてるのは父親なんですよ。自分の死んだ後の家族のことまで考えてんですから、これを奥さんに掛けたらどうなります。「お前も生命保険に入れ」となると、私の死んだ後の後妻の結婚費用かいなあーってことで大変なことになると思うんですがまあ損得は別として、でもやらなければならぬ、これが男の生きる道だろうと思うのです。

現代っ子、がめつい、がめついとばかり言えませんが、親ががめついと、子供もがめつく、親が義理堅いところは、子供も義理堅いですよ。ところで一般的にみて非常に金銭的には敏感ですねこんな話もあります。自分の会社にサンダルをおいておき、ほかの人の使われるのがいやだから「水虫用」と書いておくとか、金銭的に敏感である。

しかし、子供が大人をみて、本当に尊敬の出来る大人、それは、お金でも、地位でも権力でもないやっばり「こつこつと明日に向かつて努力している、意欲に燃えている大人」これが絶対的に尊敬されているわけで、昔も今も根本的には変わってはいないし、そんな意味ではむしろ、昔より進んでいるかも知れません。

あれやこれや考えてみて、しみじみ感じますことは私は、年配の方は、もっと勉強を大事にし、若い方は、もっともっと経験を大事にする。そう言う時に私は、日本の文化と言うのがもっともっと進み、生活関係がもっともっとなごやかに行くのではないかなあーと思つてますから、若い人達にびりびりとの言うのです。

「かざられた人生のなかで、自分をのびたいと思つたら、自分で勉強することは無論だけれども、窮屈な年配者と積極的につき合うようにしなさい」

私の経験から言つてもそうです。やっばり何んと云つても年配の方はいゝものをもつております。若い人達に後悔をさせたく無いと思うのです。どうも最近のお母さん方も変わつて来たようでございます。ある捨子の施設の人の書いた本を読んだことがあります、子供の捨て方迄変わつて来たと言います。昔でしたら同じ捨るにしてもその近くにかくれていて、どこのどんな人がひろってくれるだろうか。とか或いな又何日分かのオムツを用意して、これこれこう言うわけだと手紙をそえてあったもので、最近では捨ばなしであると云う。

何んと言いましても子供の教育にとっては、小さい時が大切で、小さい時の子供と母親の関係がどうあるかが、小学校、中学校、高校、になって現われて来るのでいきなり中学に入ったら悪くなったとか、高校に入ってから悪くなったとか、そんなことはないで、原因をさがしてみますと、やっばり小さい時の育て方ですね。それがあつた時期に、中学で花咲く人もあり、高校で花咲く人もあると云うことで、芽はむしろ小さい時に出ているのでございます。私共がみて無駄であるようなものが小さい子供には必要であると同時に、こと教育に関しては時間がかかることと、母と子の人間関係が決定的な要素であります。

ところが案外に、インスタントラーメン的に考えている人が、ますます多くなって来ているようで、そうなる子供さんが被害者であると、考えさせられることがたびたびありますね。

西ドイツでは自分の子供が大学に進む希望の場合に父親が決めるそうですね。父親が決めた大学と別の大学に進む希望の場合よほどの根拠をもって説明しなければ、自分の希望大学に行けないし、自分の息子の学ぶ学校がわからないで学費を送ると言うことが無いと、言われていると云う。(関西のある若手の大学の助教授が書いた本を読んだことがあります) 我国の場合と大いに違う点であろうかと思うのです。何んと申しましても、子供を通して感じますことは、「夫婦」の間柄だと思ふのですが、とりわけ、子供の教育、人間形成については、どんなに立派な先生が、どんなに頑張ったところでもかざられた生徒の人数、時間一人一人に入ってゆけないところもあろうかと思ふ。

家庭でどのように育ったかこれが大きな要素であります。

「女は弱し、されど母親は強し」昔と反対になってしまつて「女は強し、されど母親は弱し」最近では子供も少ないもんですから、あまやかしと申しますか、大切にすぎるようですね労働力確保等と云う面から、若い少年は以前の「金の玉子」から「月の石」などと言われてる位ですけれども、非常に大事にされすぎて、反面かわいそうだなあーと思うのです、一人立して行くとき、調子の良くないことにあつた時など本当に自分の力でやって行けるだろうか、とも考えさせられるわけですけれども、どっちにしても「家庭円満」が大切で夫婦の仲が悪くして立派な子供が育つわけがありません。

長生の秘訣、若返り法、などいい意味での夫婦ゲンカ、はいいいけれども、年中じめじめした感じのものはいいけませんね。「家庭円満」がなによりであります。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率%
46. 4. 28	45名	30名	15名		
46. 4. 21	45名	40名	5名	4名	97.78%
在函クラブ	(4/15) 函館R.C. 88.43%	(4/20) 函館東R.C. 97.67%	(4/16) 函館五R.C. 100.00%		

次回例会日 5月19日

プログラム「会員卓話」山内文雄会員

5月26日卓話「函館新空港について」

函館空港長 古藤典義氏

The Weekly Report

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル8階
ロータリー合同事務所
☎. (0138) 23-3870



of Hakodate North R.C.

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 5. 19

1970~1971 第45号

第349回例会



ハワイ世界大会 深瀬鴻一郎会員
BRIDGE THE GAPS 隔りを取り除こう (ウオーカー.I.会長指針)

本日のプログラム

「最近の石油状勢について」

山内文雄会員

第348回例会記録

- | | | | |
|----------|------------------------------------|---------------------------|-----------|
| ◎司 会 | 船矢健喜智副会長 | ◎斉 唱 | 君が代、奉仕の理想 |
| ◎ゲ ス ト | 自衛隊函館連絡部公報担当官 | 齊藤 満氏 | |
| ◎ビ ジ タ ー | 塩 釜R.C. 横田善次郎君 (遠洋漁業) | | |
| | 小名浜R.C. 和深 七郎君 (漁業) | | |
| | 釜 石R.C. 浜川 幸松君 (漁業) | | |
| | 根 室R.C. 富山 与作君 (近海漁業) | | |
| | 小樽南R.C. 小松 清君 (保存食料品製造) | | |
| | 函 館R.C. 棟方 忠君他9名 函館東R.C. 吉村 文治君他5名 | | |
| | 函館五R.C. 本間 啓一君他4名 | | |
| ☆誕生祝 | 本間利雄会員 (27日) | 戸栗 力会員 (29日) | |
| ☆結婚記念 | 森 正会員 (1日) | 本間 隆会員 (2日)、本間利雄会員 (6日) | |
| | 青柳喜一会員 (11日) | 戸栗 力会員 (20日)、広瀬芳男会員 (20日) | |
| | 山田英彦会員 (29日) | | |